

くに後世にも残る貴重なデータと言えます。KKE16aの久山町研究といい、日本発の研究の質の高さと重要さが評価されています。

<その他の最近の報告>

KKE16a 「日本人男性の喫煙による死亡増加と禁煙の効果；18年間の久山町研究」

Ikeda F等、Tob Contorol. 2012 Jul;21(4):416. PMID: 21659447

KKE16b 「軽症のCOPD喫煙者では気管支上皮のカタラーゼ産生が低下している」

Betsuyaku T等、Eur Respir J. 2012 Oct 22. (Epub ahead) PMID: 23100509

KKE16c 「HIV患者においても、喫煙は糖尿病や高血圧より高い急性冠症候群リスク因子である」

Calvo-Sanchez M等、HIV Med. 2012 Aug;69(8):854. PMID: 23088307

KKE16d 「タバコは複数の放射性物質を含むが、吸入放射線総量は多くはない」

Shousha HA等、Radiat Prot Dosimetry. 2012 Jun;150(1):91. PMID: 21926418

KKE16e 「日本製タバコの²¹⁰Pb吸入放射線量の測定」

Sakoda A等、Radiat Prot Dosimetry. 2012 Jun;150(1):109. PMID: 21890529

【週刊タバコの正体】

2012/10

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 23

(No. 312) 第5話 FCTC(「タバコ規制枠組み条約」)

(No. 313) 第6話 メビウス

(No. 314) 第7話 喫煙者の病気

(No. 315) 第8話 口臭とタバコ

(No. 316) 第9話 顔のしわ

URL:http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



毎週火曜日発行



Serial number 312

第5話

週刊 タバコの正体

人々の健康を害するタバコを製造・販売するのは、人道的に「いかなるものか」と思いますが、法律上は何ら問題のない営業活動で、日本だけでなく世界のどの国でも販売されています。

でもそのおかげで WHO(世界保健機関)によると、世界中で毎年喫煙が原因で約600万人の人が亡くなっているそうです。月単位ですと毎月50万人の人が亡くなっている計算になります。和歌山県の人口は約100万人なので、たった2ヶ月で和歌山県が生産するくらいスピードです。

そう考えると凄まじい勢いでタバコが通行している感じはしませんか。このペースでいくと2030年には年間800万人を超える死者がでると予想されているほどです。「それは、ちょっとまずいんじゃない」と思いませんか。こんな事実を知らずして、そう思いますから、先に登場した世界の保健衛生環境を取り仕切るWHOが、タバコを野放しにするわけがありません。

というわけで、WHOは2005年に次のような「タバコ規制枠組み条約」(FCTC)という国際条約を作りました。

第三条 目的

この条約及び議定書は、タバコの使用及びタバコの煙にさらされることの広がりを緩和かつ実質的に減少させるため、締結国が自国において並びに地域的及び国際的に実施するタバコの規制のための措置についての枠組みを提供することにより、**タバコの消費及びタバコの煙にさらされることを健康、社会、環境及び経済に及ぼす環境的影響から減らし煙灰の世代を保護することを目的とする。**

世界の国々が協議してタバコを減らすための「約束の枠組み」が定められていて、世界195か国のうち、日本を含む176か国がこの条約に賛成し、上の目的を叶える対策を約束しています。

しかし日本には、たばこ産業の発展を目的とする「たばこ事業法」という法律があります。この事はたびたび紹介しているので覚えてくれていると思います。国際的には「タバコは減らします」と約束しながら、じつは国内で「タバコをいっしょに売らましょ」と言っているわけなので、国際的な信用にかかわる事態となっています。

国際条約と国内の法律とは、国際条約が優先されるのが当然です。だから、皆さんがタバコに手を出さなければ、大げさですが国際的に日本を助ける事になります。自分を大切にする事で自分の国や世界の人々の健康に、いっしょでも貢献できていると思えば、少し落ちないですか。



産薬学サイエンス 奥田 恭久